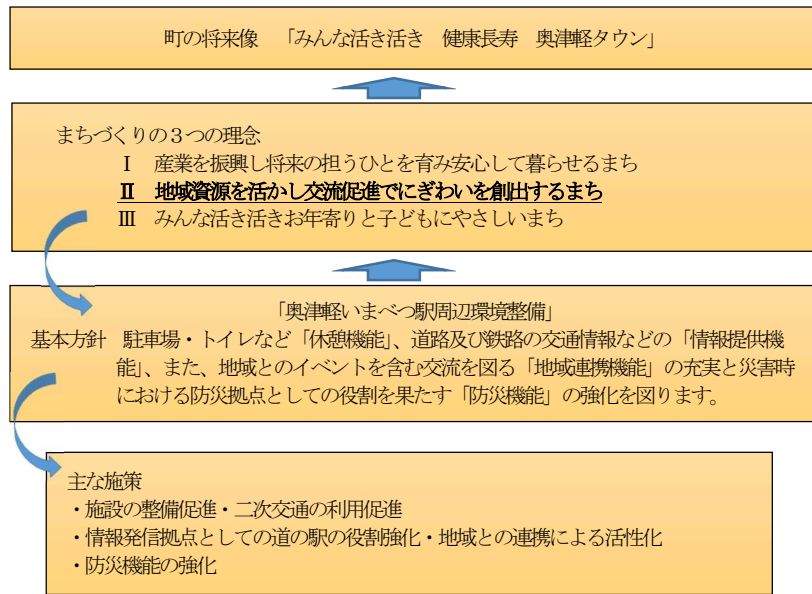


■基本構想（令和3年8月）

1. 今別町総合計画後期計画における位置付



2. 基本コンセプト及び基本方針

○再整備の目的

- ・地場産品のPR強化と地元農・漁業者等から出品される販売拠点の充実
- ・町及び津軽半島エリアの観光情報等の発信強化と交流人口の拡大
- ・「道の駅いまべつ」、「いまべつ総合体育館」を一体的とした防災機能の強化

○基本コンセプト

「自然の豊かさを満喫し、ゆっくりくつろぎ、今別の食の感動体験ができる”道の駅”」

○整備方針

- (1) ゆとりある駐車場とゆっくりくつろげる空間の整備
- (2) 情報発信強化に向けた拠点の整備
- (3) 物産販売エリアの充実と交流の場の整備
- (4) 防災機能等を持つ地域防災拠点の整備

3. 再整備の基本的方向性 現状と課題

| | |
|-------------------------------------|--|
| ○休憩機能 | |
| <input type="checkbox"/> 駐車場 | ・道の駅下の駐車場が狭い ・自転車、オートバイ専用の駐車帯がない ・駐車場入口が狭い ・EV車充電設備が屋外に整備されていない ・階段の段差、スロープの改良 |
| <input type="checkbox"/> トイレ | ・異臭問題で様々な対応策を講じてきた ・子ども用トイレの設備が必要 ・場所がわかりづらい ・トイレ内が静いイメージがある |
| <input type="checkbox"/> ベビーコーナー | ・衛生面に配慮が必要 |
| <input type="checkbox"/> 休憩施設 | ・道の駅内の休憩スペースが不足している ・道の駅外の休憩設備が不足（ベンチ・東屋） |
| ○情報発信機能 | |
| <input type="checkbox"/> 観光案内施設 | ・当町の観光情報を含め、津軽半島エリアの観光情報が不足 ・町内滞在、周遊促進の強化 ・インバウンドに対する情報提供不足 ・他地域とのコラボレーションが必要 |
| <input type="checkbox"/> 道路情報等の提供 | ・在日外国人旅行者などに対する情報提供 |
| ○地域連携機能 | |
| <input type="checkbox"/> レストラン | ・食のPRを継続していくため、レストランエリアの拡充は必要 ・厨房への入り口が物産販売コーナーになっている ・ハエ等の害虫対策が必要 ・段差等があり、バリアフリー対策が必要 ・子育て世代の受入工夫 ・喫茶、軽食メニューが不足 ・メニューが限定される日がある ・営業時間の改善 |
| <input type="checkbox"/> 産直・物産販売 | ・販売エリアが狭い ・産直配置が周りにマッチしない ・水産物等の鮮度設備が必要 ・宅配の手続きができない |
| <input type="checkbox"/> コミュニティ交流施設 | ・交流施設がなく、農村公園がくつろげるエリアとなっているが老朽化で遊具が撤去され、ベンチなどの休憩設備が不足 ・子育て支援施設が整備されていない ・いまべつ総合体育館への誘導、施設内PR不足 |
| ○防災機能 | |
| | ・避難誘導標識がない ・道の駅が避難所となっているが収容者が多く見込めない ・道の駅内に避難物資が備蓄されていない ・施設外に避難設備がない |
| ○その他 | |
| <input type="checkbox"/> 道の駅施設 | ・二股荒馬を含め、3保存会で「今別の荒馬」として青森県無形民俗文化財に指定されているため、現状にマッチしない ・道の駅の周りや県道沿いには草木が生い茂り、景観が悪い |
| <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギー | ・道の駅に非常用電源装置を整備するが他施設をカバーできない |
| <input type="checkbox"/> 雇用者の維持 | ・地元からの雇用を優先しているが若者の雇用が課題となっている |
| <input type="checkbox"/> 地域間交流 | ・交流事業の継続 |
| <input type="checkbox"/> 地域公共交通 | ・バス停留所の充実 |

4. 導入施設整備方針

基本構想に基づき、町民・道の駅来場者アンケートの意向を鑑み、次のとおり方針とします。

○休憩機能

□駐車場

- ・道の駅専用駐車場としての機能を持たせるため、小型・大型車専用の駐車帯の拡充、バイク専用駐車帯の整備と駐車場入口の改良整備を行います。
- ・身障者、妊婦等の車両スペースは、道の駅、トイレ近くに配置し、屋根付駐車場として整備するほか、バリアフリー対策を講じます。
- ・高齢者等が利用しやすいように広めの駐車スペースを検討します。
- ・EV車高速充電設備を整備します。
- ・駐車場を多言語表記し、わかりやすい案内表示板等を設置します。



イメージ 道の駅いちかわ (HP) 千葉県
左：屋根付身障者専用駐車場 右：自動二輪置場

□トイレ

- ・現道の駅のトイレは総合案内情報、レストラン専用として24時間利用を止めず。また、トイレ内が雑音印象があることから明るさの改善に努めます。
- ・道路利用者が24時間安心して快適に利用できるよう、十分な明るさの確保や換気対策など駐車場に隣接した場所に多機能トイレ、子ども用トイレを備えた新しいトイレを整備します。
- ・多言語表記やピクトグラムでの案内表示するほか、プライバシーに配慮します。

□ベビーコーナー

- ・新しく整備するトイレ内に授乳室、おむつ交換台、シンク、調乳専用機を備えた24時間利用可能なベビーコーナーを設置し、プライバシーに配慮します。
- ・多言語表記やピクトグラムでの案内を充実します。(現道の駅も同様)



イメージ 道の駅ニッ井 (HP) 秋田県
24時間対応トイレ



イメージ 道の駅ニッ井 (HP) 秋田県
授乳室・おむつ交換台

□休憩施設

- ・現在の物産販売エリアを気軽に休憩でき、各情報を確認できるよう広いエリアに椅子、テーブルを配置します。
- ・道の駅外部の農村公園の一部と多目的広場隣に遊具を整備するなど休憩エリアとして整備します。



イメージ 道の駅ニッ井 (HP)
秋田県 休憩情報コーナー

○情報発信機能

□観光案内施設

- ・津軽半島地域の観光情報機能の充実を図るため、観光情報マップや他自治体の観光パンフレットを取り添えた棚やチラシやポスターを貼る掲示板を設置します。
- ・観光情報を提供するため、大型ディスプレイ (デジタルサイネージ等) の設置を検討します。
- ・総合観光窓口を開設し、観光案内やサービス案内を行う「観光案内コンシェルジュ」の配置や翻訳機器等の導入を検討します。
- ・在日外国人旅行者の情報提供のため、多言語化パンフレット等を設置するほか、表記を充実します。



イメージ 道の駅木古内 (HP) 北海道
左：総合案内



□道路情報等の提供

- ・専用掲示板を設置し、道路情報、災害情報、医療機関情報等を提供します。
- ・デジタルサイネージを活用して、道路、JR、町営バス等の運行状況を掲示するIT機器の設置を検討します。
- ・主要道路や観光施設、医療施設等を表示したマップを整備します。
- ・案内については、多言語表記を整備します。
- ・道路情報を始め、「気象・災害情報」など、さまざまなお役立ち情報にアクセス可能な無料公衆無線LAN環境 (Wi-Fi) の整備環境を進めます。



イメージ 道の駅十文字 (HP)
秋田県 映像で道路情報を提供
休憩情報コーナー



イメージ 道の駅木古内 (HP)
北海道 施設内に表示

○地域連携機能

□レストラン

- ・段差を解消し、解放的な空間で食事していただくため、テラスを増築するほか、子ども連れ家族が利用しやすいレストランエリアを整備します。
- ・エアカーテンを設置するなど、害虫対策を講じます。
- ・食事以外のお客さん対応として、軽食・喫茶の充実を図ります。
- ・無料休憩所でも飲食できるよう環境衛生面対策を講じます。
- ・地元の「いまべつ牛」、「しのしし」、「サーモン」を使った新しいメニューや季節ごとのメニューを開発し、多くの集客やリピーターの確保に努めます。
- ・野外に手ぶらでも利用できる「いまべつ牛」焼肉 (BBQ) エリアやコンロ等の整備を検討します。



イメージ 道の駅桜島 (HP)
鹿児島県 窓側に子ども連れ等が
利用できる座敷コーナーを設けて
いる



イメージ 道の駅虹の湖 (HP)
青森県 屋外にBBQ コーナーを
設置 (予約制)

□産直・物産販売

- ・情報コーナー、無料休憩エリアを充実するため産直・物産販売コーナーを分離し、新たに「物産館」を整備します。
- ・展示販売毎にPR看板を設置するほか、陳列棚の高さや配置等を工夫し、「見やすく、選びやすく、買いやすい」エリアを整備します。
- ・新鮮な産物を提供販売するため、保存設備を配備します。
- ・地元産物の展示販売を充実するため、「道の駅出荷協議会」の組織強化を図るほか、高齢化対策や品前の充実のため集荷方法を検討します。
- ・配送サービスや商品の宅配サービスを検討します。
- ・道の駅の定期的なイベントの開催や加工品の実演販売等、生産者と消費者の交流の場を検討します。
- ・日用品の展示販売を検討します。
- ・町ホームページやSNSを通して、情報発信を行います。



イメージ 道の駅角田 (HP)
宮城県 新鮮な食材を取り
揃えている



イメージ 道の駅なかせん (HP)
秋田県 杜仲豚串焼きの実演販売
(土日の開催が多い)



イメージ
道の駅しもつけ (HP)
栃木県 宅配サービス
四季毎にカタログ作成

□コミュニティ
交流施設

- ・子どもが遊ぶ空間、子どもから大人まで休憩できる空間、町内の文化資源等を展示できる多目的空間や24時間利用可能な子育て支援施設(おむつ交換スペース)、子ども、大人、多目的トイレを備えた「交流館」を整備します。
- ・子ども向けの遊具や子どもから大人まで休憩できるベンチや東屋等を備えた公園(緑地公園・キッズ公園)を整備します。
- ・イベント広場をボール遊びや野外スポーツ等でいつでも利用できる野外広場とします。
- ・「愛犬」と一緒に立ち寄れるための「ドッグラン」の設置を検討します。



イメージ 道の駅までい館 (HP)
福島県 木のすべり台、つききなど



イメージ 新青森陸上競技場
遊具広場 青森県
複合遊具 健康遊具など



イメージ 道の駅までい館(HP)
福島県 ドッグラン
左上:道の駅 公園

○防災機能

□防災機能

- ・一体的な防災整備を進めるため、車道、歩道併用の連絡道路を整備するほか、避難場所の動線案内表示板を設置します。
- ・公園は災害時でも避難場所としての機能を持たせるほか、イベントや避難訓練時でも併用できるかまどベンチ等の設備を検討します。
- ・避難物資を備蓄する「いまべつ総合体育館」、令和3年度に整備する避難物資備蓄倉庫を併設した「除雪ステーション」と併せて、災害時に救護ヘリが利用できる場所を確保します。



イメージ 道の駅織姫の里なかの (HP) 石川県
左側:かまどベンチ 平常時ベンチ利用 災害時等かまど利用
中央側:かまどツール 平常時ツール利用 災害時等かまど利用



JS Z9098 データ集「災害種別避難誘導標
識システム」
出典:内閣府

○その他

□道の駅施設

- ・正面入口をインパクトが強い印象を与えるため、看板絵を新しくします。
- ・周辺の案内表示板は景観に考慮します。
- ・施設内の明るさを保つ電気設備を検討します。

□再生可能エネルギー

□雇用者の維持

- ・避難場所として、安心・安全な環境づくりを整備するため、太陽光等の再生可能エネルギー供給のため、「分散型エネルギーインフラプロジェクト(マスタープラン)」で検討します。
- ・指定管理者制度を今後も継続し、魅力ある職場・働きやすい環境整備を指定管理者と連携し地元雇用を最優先します。
- ・移住定住対策のため、職場体験の誘致やお試し住宅利用者等の職場体験施設として協力します。

□地域間交流

- ・「奥津軽いまべつ駅」内で行う各種イベントや「いまべつ総合体育館」で行うスポーツイベント等を通じて、「道の駅いまべつ」エリアのPRを継続し、利用促進を図ります。
- ・道南自治体の物産販売を通じた交流を検討します。
- ・近隣道の駅と相互連携を行います。



左側:イメージ 道の駅七戸 青森県 垂直設置型ソーラ
ーパネル
青森県再生可能エネルギー産業振興ポータルサイト(HP)
右側:イメージ 道の駅まつだいふるさと会館
屋根にソーラーパネル 新潟県十日町市(HP)

□地域公共交通

- ・新しく整備する「交流棟」、「いまべつ総合体育館」付近にバス停留所を整備します。



イメージ 道の駅角田(HP)
宮城県



イメージ 道の駅木古内(HP)
北海道



左側:イメージ
道の駅ならほ(HP)福島県
物産館で姉妹都市香枝市の
物産を販売



イメージ 道の駅しょうなん
(千葉県)で姉妹都市福島県只見
町の物産を販売 只見町観光ま
ちづくり協会(HP)

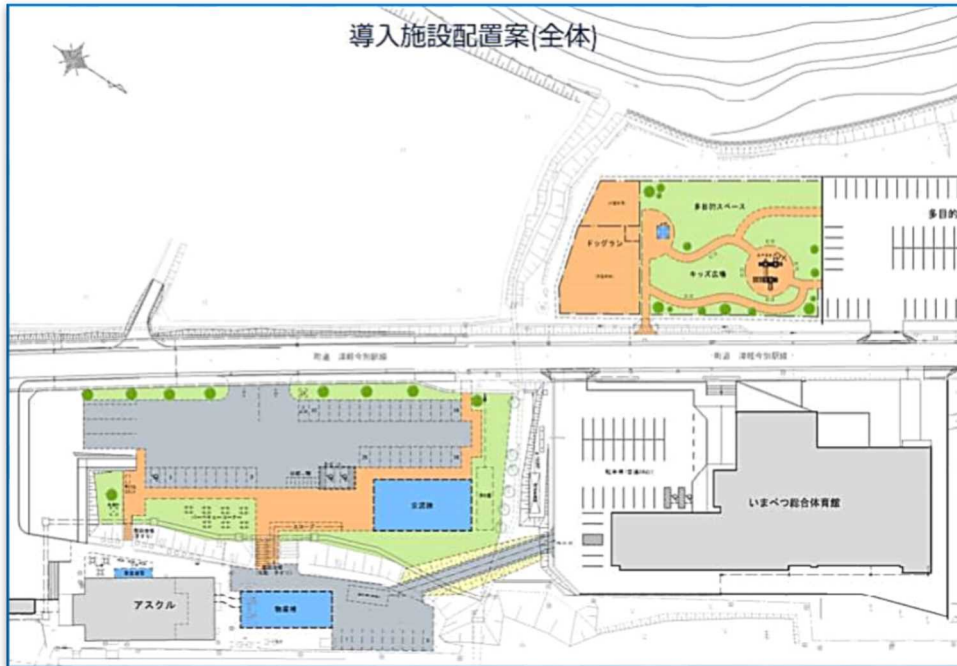
5. 整備・管理計画

- 事業主体の検討 これまで、公共施設整備については「公営公設方式」で整備してきましたが厳しい財政状況を鑑み、国の交付金、社会資本整備総合交付金等の活用や民間活力導入方式を含め検討します。
- 管理運営の検討 導入施設の運営管理については、現在の道の駅いまべつを含む一体的な運営管理方法が望ましいと考えますが、町が直接運営する方法等を含めて検討します。
また、雇用の場の拡大になることから、配置人数等も併せて検討します。

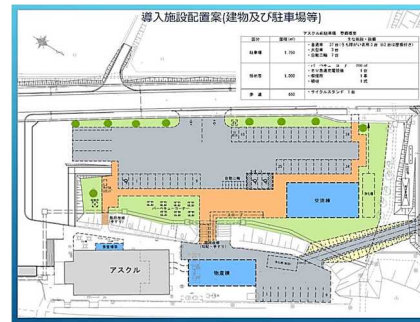
6. 施設配置計画

- 既存駐車場を農村公園側に拡充します。普通車 37 台(うち障がい者用 3 台)、大型車 3 台、自動二輪 7 台を配置します。障がい者用駐車スペース(2 台分)は「思いやり駐車場」として屋根付とし、24 時間対応トイレを設置する交流棟側に配置します。また、大型車がスムーズに出入りできるよう、出入口を広げ、北側に移動させます。
- 物産棟はアスクルに隣接した東側の従業員駐車場に配置します。
- 交流棟はアスクル、物産棟、総合体育館の視景を考慮し、拡充した駐車場(農村公園側)に配置します。
- 駐車場東側の緑地をバーベキューコーナーとして活用します。
- 物産棟への歩行者動線(車いす等)を確保するため、スロープを新設します。
- 物産棟敷地と総合体育館敷地をつなぐ管理通路(幅員 3m)を新設します。

○全体施設配置(案)

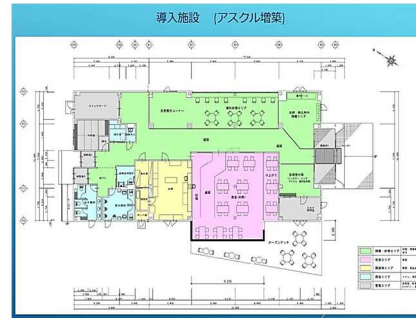


○駐車場



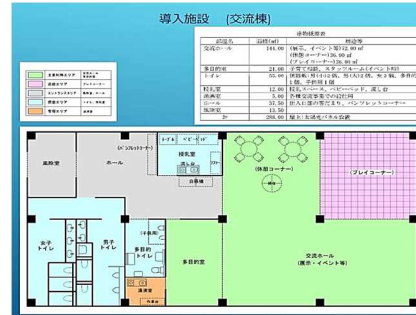
○道の駅普築

現在のレストランは、客席が9席(4人掛)で休日の昼食は待ち時間が発生するほか、20~30人程度の団体客の受入れも困難な状況となっていることから、概ね1台(45人)を受入れ可能とする座席数を計画しました。
また、現在の物販スペースは道路・観光案内情報等、無料休憩エリアとするほか、外壁・入口看板・照明器具の改修を行います。



○交流棟

交流棟は交流拠点として整備します。子育て支援事業や地域の文化・観光に関する展示、イベントの開催を行います。また、24時間対応のトイレ、授乳室を併設します。



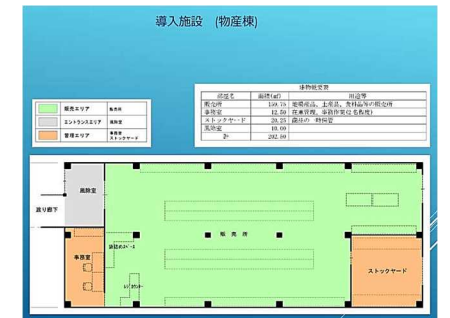
○緑地公園

- 子供の遊び場として大型遊具を配置したキッズ広場とボール遊び等ができる多目的スペースを計画しました。(多目的スペースは、冬場に雪でスロープをつくり子供たちの遊び場等として活用します。)
- また、南側に凹型、大型犬を区分したドッグランスペースを計画します。他の公園利用者に危害を与えないよう、餌、生への注意喚起の看板を設置します。
- 四阿・ベンチは災害時にお餅薪材の収納や炊き出し時の「かまど」として活用します。

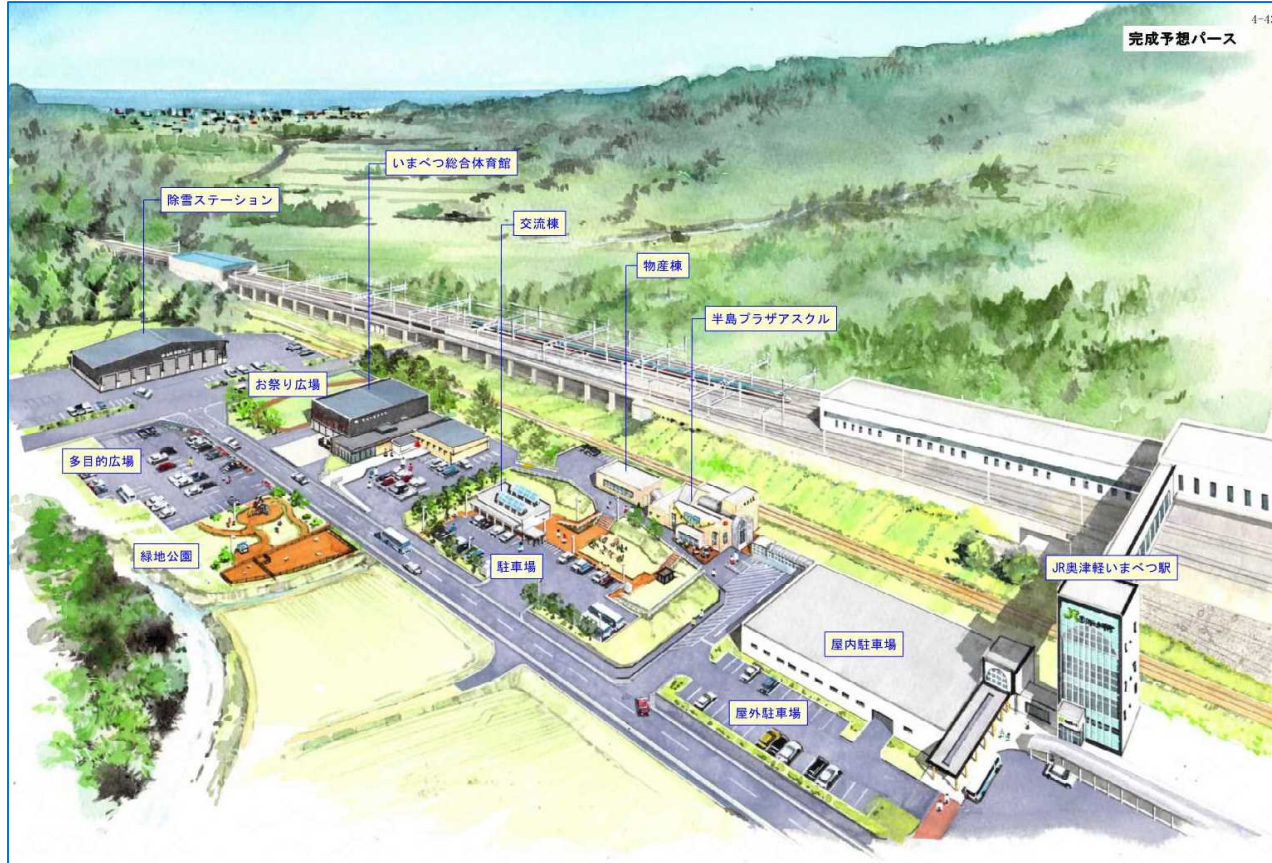


○物産館

現在の物販面積は約180㎡であり、物産棟はすべて同程度の面積を確保し、展示室、事務室を加え202.5㎡としました。
また、雨天・冬期の利便性を考慮し、アスクルとは渡り廊下で繋がります。



○完成予想パース



7. 概算事業費

概算事業費 810,260千円

厳しい財政状況を鑑み、道の駅整備に活用できる補助制度の活用や民間活力導入方式を含め検討するほか、事業費の削減を図るなど事業内容の詳細を検討していきます。

○各施設等の概算事業費は次のとおりです。

| | |
|------------|-----------|
| アスкул増築事業 | 63,272千円 |
| 物産館新築事業 | 162,140千円 |
| 交流棟新築事業 | 285,593千円 |
| 外構・駐車場整備事業 | 202,950千円 |
| 緑地広場整備事業 | 87,373千円 |
| 測量費 | 1,936千円 |
| 地質調査費 | 6,996千円 |

8. 想定年間利用者数等

○県道14号交通量

平成27年度全国道路・街路交通情報調査結果に道の駅利用者増減率をもとに見込みました。

| | 昼間12時間 | | | 24時間 | | |
|--------|--------|------|--------|--------|------|--------|
| | 小型車 | 大型車 | 計 | 小型車 | 大型車 | 計 |
| 令和3年度 | 1,757台 | 424台 | 2,449台 | 2,157台 | 534台 | 2,759台 |
| 令和10年度 | 2,326台 | 561台 | 2,887台 | 2,855台 | 707台 | 3,562台 |

○道の駅利用者数

| | 利用者数(予測) | 備考 |
|--------|----------|---|
| 令和3年度 | 93,376人 | 令和3年度見込数をもとにコロナ禍の影響を踏まえ、毎年3.0%増、再整備施設完成後の令和10年度予測数を127万人、以後3.0%の増と予測(見込)。 |
| 令和10年度 | 124,000人 | |
| 令和11年度 | 127,000人 | |
| 令和12年度 | 131,000人 | |
| 令和13年度 | 135,000人 | |
| 令和14年度 | 139,000人 | |

9. 施設運営費用の見通し

現道の駅いまべつの過去3年間(平成30年度～令和2年度)の収支額、利用者見込数をもとに試算した各施設の収支見通しは次のとおりです。

| 施設名 | 物産館 | 交流棟 | 緑地公園 | レストラン・軽食、情報提供棟 |
|------|-----------|-----------|----------|----------------|
| 支出 | 約37,840千円 | 約8,441千円 | 約1,200千円 | 約52,324千円 |
| 収入 | 約36,000千円 | 約100千円 | 0円 | 約31,656千円 |
| 修治/年 | 約△1,840千円 | 約△8,341千円 | 約1,200千円 | 約△20,668千円 |

サービスの質の向上・効率化が期待できる「指定管理者制度」の活用が望ましいと考えますが、町が直接運営する方法等を含め、早い段階で運営方法を決定し、様々な意見を取り入れながら事業を進めていきます。

10. 事業スケジュール(予定)

| 区分 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 基本計画 | ←→ | | | | |
| 事業化詳細検討 | | ←→ | | | |
| 重点道の駅企画提案書・応募 | | ←→ | | | |
| 基本設計 | | | ←→ | | |
| 実施設計・測量 | | | | ←→ | |
| 本工事 | | | | | ←→ |

3年計画で整備(令和7～9年度)